

# 武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第 30 号

発行

武蔵野市教育委員会指導課  
令和5年7月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

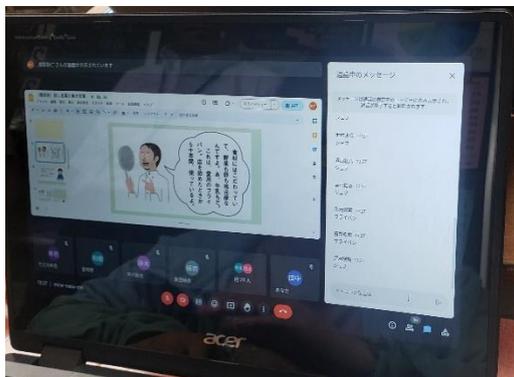
検索



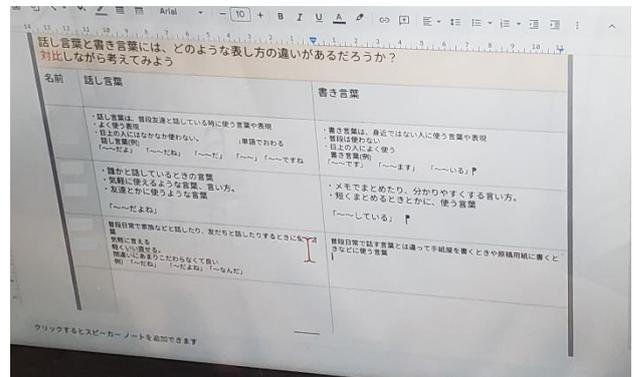
## 教員も学習者用コンピュータの活用方法を学び続けています

先月、市内の小学校6年生の学級で、市内の全小・中学校校から ICT 活用推進リーダーの先生方が集まり、学習者用コンピュータを効果的に活用した授業方法について研究授業が行われました。国語の「話し言葉と書き言葉」の単元で、「話し言葉と書き言葉の違い」に気付くために学習者用コンピュータを活用しながら学習が行われていました。

「話し言葉と書き言葉の違い」について気付いたことを、Google ミートのチャット機能を活用して自由に打ち込みます。挙手をして発言するの必要がないため、多くの意見が飛び交っていました。その後、班で「話し言葉と書き言葉」にどのような違いがあるかについて話し合いました。まず、自分の考えを Google スライドに書き込み、その後班で話し合いが行われていました。その際は相手の目を見ながら意見を発表する等、対面でのコミュニケーションも大切にされていました。



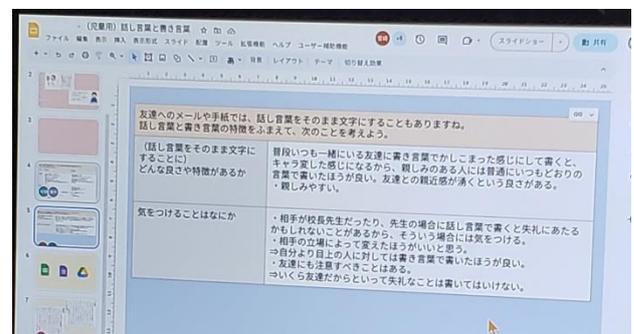
【考えをチャットに打ち込んでいる様子】



【班で各自の考えを共有している様子】



【班で話し合っている様子】



【個人で考えをまとめている様子】

授業後の協議会では、授業者の先生への質問が相次ぎ、休憩時間中も話し合う姿が見られました。学習者用コンピュータが配付されて3年目を迎えますが、教員も適切かつ効果的な活用方法を常に模索し続けています。

(裏面あり)

## 6年生が教え役として、1年生の端末配付に活躍しました

先月、市内の小学校で、1年生に学習者用コンピュータが配付されました。その際、最初のログインや使い方を習う授業で、6年生がサポートに入り立派に役割を果たしていました。

授業では、「学習者用コンピュータは学習に使うためのもの」と学びます。続いて各児童にアカウントとパスワードが配られました。担任の先生から「アカウントはみんなのお家です。パスワードはお家の鍵です。」「お家が分からなくなったり、鍵を無くなったりしてしまうと困りますね。」「知らない人にお家の場所を教えたり、鍵を渡したりしませんね。だから他の人に教えないようにしましょう。」とアカウントとパスワードを管理することの大切さについて学びました。

学習者用コンピュータへログインや、クラスルームに入る際、サポートに入った6年生が丁寧に教えていました。6年生が代わりに全て作業することなく、「この文字はこのボタンおしてごらん。」「直接画面をさわっても動かせるよ。」とこれから1年生が自分で作業ができるように上手にサポートしていました。



【学習者用コンピュータの使い方の説明を受けている様子】

ログインすることができた1年生は学習者用コンピュータを手に、校内の自分の好きな場所を写真撮影に向かいます。その際も6年生がサポートにつき、撮影の仕方や撮影した写真の見方を教えていました。途中で電源が切れてしまったり、動かなくなってしまうとトラブルが起こってもサポート役の6年生は動じることなく落ち着いて対処していました。



【6年生が1年生に丁寧に教えている様子】



【自分の好きな場所を撮影している様子】

授業後、1年生からは「自分のパソコンがもらえて嬉しい。」「自分が好きな場所を撮れて嬉しかった。」と、喜びの声が聞くことができました。6年生からも「教えるのは難しかったけど、楽しかった。」と上級生としての責任を果たした充実感が感じられる声があり、充実した時間となっていました。